

へんちよう
遍澄

享和 2 年（1802）三島和島村島崎（現長岡市）の鍛冶屋甚五衛門の長男に生まれた、良寛の法弟。25 歳で剃髪して同村の能登屋木村家の裏庭の小舎に良寛を訪ね、教えを受けながらよく仕える。良寛は終生のうち弟子にしたのは歌の愛弟子である貞心尼と遍澄の二人だけである。

天保 2 年（1831）74 歳の良寛は遍澄の膝にもたれてなくなったと伝えられる。後に遍澄は地蔵堂本町の至誠庵に住み、富取芳斎に絵を学び芝田と号し、琢山、翠蔭とも号した。晩年に失明し島崎に帰り、75 歳で没した。良寛の詩の最初の蒐集家。

生年月日 不詳。

明治 9 年（1876）9 月 13 日没 75 歳。